

令和7年度 家庭科 第1学年 年間指導計画案

| 学期 | 月 | 時数 | 編・章 | 指導内容・項目 | | |
|-----|-----|----|--|--|---|--|
| | | | | 学習内容 | 学習の目標 | 方法・教材等 |
| 1学期 | 4月 | 3 | 家庭科のガイダンス<キャリア> B 食生活 1.食事の役割と食習慣 2.中学生に必要な栄養を満たす食事 3.さまざまな食品とその選択 | 自立と共生について考える。 | 3年間での到達目標を把握し、家庭科分野の見通しを持つ。 | <ul style="list-style-type: none"> ・一斉指導 ・学習プリント ・家庭学習課題 ・視聴覚教材 ・小テスト ・定期テスト |
| | 5月 | 4 | | 食事摂取基準から中学生に多く必要な栄養素を考える。 | 健康によい食習慣について理解している。 中学生の1日に必要な栄養素の種類と働きや、食品の栄養的な特質について理解する。 | |
| | 6月 | 3 | | 食品に含まれる栄養素と、食品成分表の見かたを理解する。 | 用途に応じた生鮮食品と加工食品の選択について理解する。 | |
| | 7月 | 3 | | 生鮮食品と加工食品の特徴、表示内容、保存方法をなど知る。 | 食品の安全と衛生に留意した管理について理解する。 | |
| 2学期 | 9月 | 3 | 4.日常食の調理 5.地域の食文化 | 調理に必要な手順や時間を考え、調理計画を工夫する。 | 食品や調理用具等の安全と衛生に留意した管理について理解し、適切に調理ができる。 | |
| | 10月 | 3 | | 安全と衛生に配慮して、肉・魚・野菜の特徴や取り扱い方を踏まえた調理ができる。 | 材料に適した加熱調理の仕方について理解しているとともに、基礎的な日常食の調理が適切にできる。 | |
| | 11月 | 4 | | 中学生に必要な栄養を満たす1日分の献立を考える。 | 地域の食文化について理解しているとともに、地域の食材を用いた和食の調理が適切にできる。 1日分の献立を作成する方法について理解する。 | |
| | 12月 | 3 | | | | |
| 3学期 | 1月 | 3 | 6.献立づくり 生活の課題と実践 7.持続可能な食生活<キャリア> | 持続可能な食生活を送るために食生活を工夫することができる。 | | |
| | 2月 | 3 | | 食生活の問題を把握し、持続可能な食生活について考える。 | 社会や環境に配慮した食生活について課題を見いだし、課題解決について考える。 | |
| | 3月 | 3 | | | | |
| 合計 | | 35 | | | | |

令和7年度 家庭科 第2学年 年間指導計画案

| 学期 | 月 | 時数 | 編・章 | 指導内容・項目 | | |
|-----|-----|----|--|---|--|--|
| | | | | 学習内容 | 学習の目標 | 方法・教材等 |
| 1学期 | 4月 | 3 | B 衣生活 1.目的に応じた衣服の選択 ＜キャリア＞ 2.日常着の手入れと保管 | 目的に応じた衣服の選び方 服の手入れ 裁縫道具の使い方 布を用いた製作 | 目的に応じて、ふさわしい衣服を判断することができる。 繊維の種類と特徴を踏まえた扱い方が理解できる。 布製品の基本的な製作知識や、手入れの仕方が理解できる。 安全に配慮した、正しい裁縫道具の使い方が理解できる。 | ・一斉指導 ・学習プリント ・家庭学習課題 ・視聴覚教材 ・作品見本 ・裁縫道具 ・小テスト ・定期テスト |
| | 5月 | 4 | | | | |
| | 6月 | 3 | | | | |
| | 7月 | 3 | | | | |
| 2学期 | 9月 | 3 | C 消費生活 1.家庭生活と消費 2.購入・支払いと生活情報 3.消費生活者被害と消費者の自立 4.持続可能な社会 | 裁縫機器の使い方 布を用いた製作 | 衣服の修繕に必要な基礎技能やミシンなどの裁縫道具の適切な使い方を身につける。 衣生活や住生活を豊にするための製作品を考え、製作計画や方法について自分なりに工夫できる。 | |
| | 10月 | 3 | | | | |
| | 11月 | 4 | | | | |
| | 12月 | 3 | | | | |
| 3学期 | 1月 | 3 | B 住生活 1.住まいの働きとここちよさ 2.安心な住まいで安心な暮らし ＜キャリア＞ 3.持続可能な住生活 | 各地の住まいの空間や特徴 生活行為と住空間 住まいの安全 快適な室内環境 | 生活を配慮した住まいの工夫や特徴を理解している。 住まいに関わる危険について理解し、災害を想定した行動判断をすることができる。 住まいに関わる危険と対策の仕方を理解している。 | |
| | 2月 | 3 | | | | |
| | 3月 | 3 | | | | |
| 合計 | | 35 | | | | |

令和7年度 家庭科 第3学年 年間指導計画案

| 学期 | 月 | 時数 | 編・章 | 指導内容・項目 | | |
|-----|----------------------|----------------|--|---|--|--|
| | | | | 学習内容 | 学習の目標 | 方法・教材等 |
| 1学期 | 4月 5月 6月 7月 | 7 | A 自分の成長と家族・家庭 2.幼児の生活と家族 3.幼児との関わり ＜キャリア＞ | 幼児の生活と遊び 幼児との関わり方 | 乳幼児の生活の特徴が理解できる。 乳幼児の発達段階と遊びの関係性について理解できる。 乳幼児の立場を考え、適切な声かけや対応をすることができる。 | ・一斉指導 ・学習プリント ・家庭学習課題 ・視聴覚教材 ・作品見本 ・裁縫道具 ・小テスト ・定期テスト |
| | 2学期 | | | 9月 10月 11月 12月 | 7 | |
| 3学期 | | 1月 2月 3月 | 4 | 5.持続可能な家庭生活 中学生としての自立 地域との関わり 体が不自由な人への服の着 脱介助の実習 | | |
| | 合計 | | | | 18 | |